

クロスワードタイム

寒い日が続きますが、寒さはこれからが本番です。体調に気をつけながらクロスを楽しんでください。今年もクロスをよろしく願います。二重枠の言葉を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合名、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様にクオカードを贈呈します。

■メ切:2月13日(月) ■宛先:〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3階 日建協クロスワード係(Mailはこちらへnikkenkyo@nifty.com)

ヒント:

第30回の記念すべき大会です。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
9										
12			13					14		
15				16		17				
			18							
19		20		21						
22			23			24		25		
		26			27		28		29	
30	31		32	33		34		35		
36				37						

ヨコのカギ

- 直角三角形3辺の長さの関係を表す等式で、三平方の定理とも呼ばれています。
- 1950年代に米国で流行した、カントリー音楽にリズム&ブルース等を取り入れた音楽。
- 余ったひまな時間。仕事の合間などの自由に使える時間。
- 「〇ひろ子」「〇原涼子」「〇田麻里子」。
- 読み通すこと。読み終わること。
- 江戸後期に江戸で流行した、歌詞が短く調子のくだけた、三味線の伴奏で歌われる歌。
- 過去に覚えたことや体験したことを、忘れずに心にとめておくこと。
- 日本では2回開催されています。
- 暑さや寒さをこらえて競い合います。
- オットセイに似ているが、やや大型の海獣。
- 金銭・物品などの使い道。
- 仕事に長じている人。また、ミスなくきっちりと仕事を片づける人。
- 氷を英語でいうと?
- 他国の国籍を得て、その国民になること。
- 知的な能力を育てる教育のこと。
- 縄や竹などを使い、鳥や獣を生けどりにする仕掛け。
- 高いおか。岡。
- 江戸時代、大名が支配した領域およびその統治機構。
- ジョナゴールドや紅玉、王林などの品種があります。
- 文法的機能の変化や他の語との接続関係によって、語の形が変化すること。

タテのカギ

- ロシア風の揚げ饅頭のことです。
- 全長10cm位の海水魚で、頭部が馬に似ていることからウミウマとも呼ばれる。
- 言葉の句切り、また言葉の一まとまり。
- 「ワンダー○○○」「ドリーム○○○」「サマー○○○」。
- コインを入れてレバーを引き、図柄を揃えて遊ぶゲーム機。
- スポーツ競技などで、得失点に数えないこと。
- 弓の名手として知られている英雄。「ウィリアム・○○」。
- 栗原はるみやケンタロウなど、「食」を職業にしている人。
- 縫りをかけた糸にガス焼き・漂白・ろう引きなどの加工を施した、主にミシン用の細い木綿糸。
- 年末に特定の場所で、羽子板を売ること。
- 日の出る方向に向かって左の方角。
- 自動車などで、車輪を支持する部分、またその全体の機能のこと。
- 古いものから新しいものへと移り変わる途中の時期。
- 日本料理の調理場で、主に物を煮ることを担当する人。
- お米を炊くことです。
- 食物などに含まれている塩分の量。
- 主君の家、また君主の家のこと。
- インドや中近東の平焼きのパン。
- 竹や籐、針金などを編んで作った、編み目のある容器。
- ハマグリやカキ、サザエなどの総称。

Vol.791クロスワード 正解と当選

答えは「一日千秋(イチジツセンシュウ)」でした。

イ	チ	ゴ	イ	チ	エ	シ	モ	ト
シ	ガ	イ	キ	ヨ	ク	バ	ン	ビ
カ	イ	シ	ウ	ボ	ク	ツ	イ	
ワ	ダ	カ	マ	リ	ガ	ラ	ク	タ
タ	ナ	イ	タ	グ	メ	モ	ト	
ク	ガ	マ	ノ	ア	ブ	ラ	ビ	
ボ	タ	ウ	ダ	イ	オ	コ		
ク	ニ	キ	メ	ラ	コ	ミ		
ア	フ	ガ	ン	ハ	ウ	ン	ド	
カ	イ	セ	ン	ラ	ッ	パ	ノ	ミ

多数のご応募ありがとうございました。次の方が当選されましたのでクオカードをお送りします。またのご応募をお待ちしています。

立松和彦、新倉 梓、永井覚子(アサマ)、瀬賀東吾(奥村)、池部祥子、池上 剛、若林宏彰(鴻池)、竹林 和(佐藤)、葛城弘人(大日本)、平形和広(大豊)、谷本真由美(大和小田急)、楫美喜子(鉄建)、寺門裕司(東洋)、河田政之(戸田)、菊部靖志、持田哲郎(飛鳥)、谷藤知恵、中島 惇、村松 透(西松)、亀山沙衣子、前田信行(ハザマ)、谷田辺友子(ピーエス三菱)、川上陽子(ペンタ)、中野礼子(丸彦)、椎野武幸(三井住友)、雨宮尚司、上野陽子、上木戸功太、新家絵美(横河)、山田健一(りんかい日産) <敬称略>

編集後記

2012年がスタートしました。年末年始はゆっくりお過ごしになりましたか?

本年はアメリカやロシアの大統領選挙など世界の情勢や経済に大きな影響をもたらす出来事が予定されている年です。どんな一年になるのか気になります。

本号より表紙を一新しました。より季節感が感じられるものとなりました。いかがでしょうか。これからも皆さんに親しみやすい誌面作りを心がけていきます。

さて、本号では日建協の山田議長と日建連の福田常務執行役による新春対談や、5大学への出前講座などを取り上げています。

「建設業がこの国を支えているんだ!」と学生をはじめ、これからの世代の人たちが魅力を感じてもらえれば、建設産業の更なる発展も十分可能だと思います。

まだまだ寒い日が続きますが、健康に気を付け、元気に「ワーク」と「ライフ」に取り組みましょう。

日建協も加盟組合の皆さんとともに「絆」を大事に活動してまいります。

もや 舩い

今年5月には、高さ634mとなる東京スカイツリーが開業する予定だ。東京タワーの高さが333mなので、その1.9倍に相当するスカイツリーは、世界一高い自立式電波塔となる。「世界一」という事は何を示唆するのであろうか? そこには「前人未到」の領域があるという事ではないかと思う。誰も経験した事が無い困難を乗り越えられて、初めて「世界一」が達成出来るのだと思う。最近、日本企業や人材のグローバル化が話題となっているが、我が建設業界においては業界の特殊性から、総じてグローバル化が遅れていると指摘され

ている。今、日本において求められるグローバル化とは何なのか? それは自国だけでなく、言葉、文化、習慣の違う国々を舞台に仕事を成功させる事ではないだろうか。そこには想像もできなかった問題に遭遇し、それを解決していく力が必要であり、それがグローバルに活躍できる力の本質だと思う。現在の日本の建設業界が「世界一」を成し遂げる力は、経験した事が無い困難に遭遇しても、解決し、乗り越える事が出来るという、グローバルに活躍できる力があるという事の証だろう。(ふーさん)